

平成30年度 本巣松陽高校マニフェスト

学校教育目標	学校教育全体を通じて、「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かでたくましく生きることのできる生徒の育成に取り組む。 1 学習活動を重視し、自己実現に向けた意欲的な態度の育成 2 規範意識の確立と豊かな心の育成 3 自主・自立の精神の育成	
< 教育指導の重点 > 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 教科指導 生徒の実態を踏まえた指導計画のもとに、創意工夫ある授業実践を通じ、大学や社会で、力強く学び、成長するための主体的な学習態度の育成を図る。	① 生徒一人一人の学習習慣や生活のリズムを把握し、根気よく家庭学習に取り組ませることで、時間をマネジメントする力を定着させます。 ② 学習のゴールを教師と生徒が共有した授業を展開し、教科学力の伸長を図ることで、自信が生み出す主体的な学習態度を育成します。 ③ コミュニケーション能力、課題解決力、論理的思考力、創造力等を育成するための教材開発や指導方法を工夫し、ジェネリックスキル（リテラシーとコンピテンシー）を身に付けさせることで、大学や社会で活躍する準備を進めます。	① 「学習生活パターン」調査の「計画的に学習している」に対する生徒の肯定的な回答が、80%以上になることを目指します。 ② 「学びみらいPASS」の「教科学力」に係る生徒一人一人のスコアが、学年が上がるごとに100伸びることを目指します。 ③ 「授業アンケート」の「本校の授業で習ったことは、将来役に立つと思う」に対する生徒肯定的な評価が、90%以上になることを目指します。
2 生徒指導 信頼と愛情を基礎とした生徒理解と指導のもとに、思いやりがあり豊かな人間性を持ち社会的規範意識の高い生徒の育成を全校態勢で推進する。	① 職員が積極的に声をかけることで、基本的生活習慣やマナーを身に付けさせます。特にスマートフォンや携帯電話の適切な使用を守らせます。 ② 「交通安全」「薬物」「情報モラル」等の講話を実施し、生命や人権を尊重する意識を高める活動を推進します。 ③ 「迷惑・いじめ」に関する調査を実施し、スクールカウンセラーなどとの連携を図り、的確な初期対応と生徒の心のケアを行うことで、「いじめを許さない学校」であり続けます。	① 「生徒及び保護者アンケート」の16「モラル・マナー」及び34「スマートフォン・携帯電話の使用」の指導に係る肯定的な評価が、90%以上になることを目指します。 ② 講話後の感想文やアンケートで、心の成長を確認します。また、ルール違反、交通事故の削減を目指します。 ③ 「迷惑・いじめ」に関する調査の分析により生徒の状況を判断し、「生徒及び保護者アンケート」の18「いじめや差別」の指導に係る肯定的な評価が、90%以上になることを目指します。
3 進路指導 生徒一人一人が自己にふさわしいキャリアを形成し、将来に対する目的を持ち主体的に自己の進路を実現し、自立していくために必要な意欲・態度・能力を育成する。	① 個々の生徒の進路希望に応じた学習支援（放課後補習・休業中補習・小論文指導・MSAテスト・サテライト講座など）の実施により進路実現に向けての学力が身に付くように支援します。 ② 外部活力（出前授業・進路講演会・本巣市との連携事業など）を有効活用し、各自の進路研究の充実を目指します。 ③ 進路実現のために適切な進路情報を提供するとともに、HPの更新を積極的に行います。	① 補習・サテライト講座等に対するアンケートの結果を分析します。前年度の進路実績と比較して学力や進路状況により達成度を判断します。 ② 行事のアンケート結果や感想を含むレポート内容で進路意識が高まっているかを判断します。 ③ 「生徒及び保護者アンケート」の6及び20「通信やHP」「進路情報の提供」の充実に係る肯定的な評価が80%以上になることを目指します。

